

# 中川公園の施設整備に関する要望書

中川公園は、昭和47年に都市計画決定され、スポーツ及び防災施設を含む運動公園として、早期の全面開園が地元から強く望まれてきました。

しかし、昭和63年に暫定施設として建設発生土改良プラントが稼動し、平成15年には、新たに「土づくりの里」として施設更新されました。

また平成25年には、都から「土づくりの里」を恒久施設として存続させたいと、その上部をカバーし、新たに公園として整備する計画が提案され、周辺地域からは様々な意見が出されましたが、平成27年6月の「中川処理場連絡協議会」において、本提案が正式に受け入れられました。

これを機に発足した、周辺の町会自治会長等による「中川公園整備検討協議会」において、約二年間に渡り中川公園の将来像に関する検討を重ねられ、平成29年4月、区に対し「中川公園の施設整備に関する要望書」が提出されました。その後、庁内関係所管で検討を加え、本要望書として取りまとめました。

貴職におかれましては、「土づくりの里」により生活環境が害され、悩み続けた地域住民の思いを十分におくみとりいただきますとともに、中川公園を緑豊かな魅力ある公園として整備下さいますよう以下強く要望いたします。

## 1 公園の将来像

災害からまちを守るとともに、子どもたちの成長を育み、世代を超えた交流の場

## 2 公園の基本理念

### ア ユニバーサルデザインに対する配慮

障がいがある人もない人も、子どもも高齢者も、すべての人が生き生きと安心して自由に移動できる公園とすること。

### イ 公園内外からのアクセスの強化

公園の入口を増やし、どこからでも利用しやすくする。また、平坦部とカバー部の往来を可能とし多方面からの導線を確認し整備する。

### ウ 自然・地域環境への配慮

自然豊かで清潔感があり、地域の景観向上につながる施設とすること。

## 3 公園の整備方針

### ア 防災活動の中心拠点としての整備

地震・水害に対して強い防災設備の設置

### イ スポーツ施設の整備

誰もが気軽に利用でき健康増進が図れる施設

(有料施設等は夜間も利用できるものとする)

- ウ 交流スペースの整備  
地域交流の図れるやすらぎの場
- エ 子どもたちの健やかな成長を促す広場（育み広場）

#### 4 その他

- ア 既存A、B両地区の公園の再整備と土づくりの里の覆蓋化及び上部公園の早期整備
- イ 既存A地区の下水道施設のトップライトを撤去し、土づくりの里の覆蓋化と一体的に整備する
- ウ 公園整備が完了した区画から供用を開始する
- エ 計画策定にあたり地域との十分な協議を行う
- オ 環境に配慮した整備計画とする

平成29年12月25日

足立区長  
近藤 弥生

中川公園整備検討協議会会長  
羽住 奎

東京都建設局長  
西倉 鉄也 様

東京都公営企業管理者  
下水道局長 渡辺 志津男 様

# 中川公園が目指すべき将来像

災害からまちを守るとともに、子どもたちの成長を育み、世代を超えた交流の場

(基本理念) ユニバーサルデザイン アクセスの強化 自然・地域環境への配慮

防災活動の  
中心拠点  
としての  
整備

スポーツ施設  
の整備

交流  
スペースの  
整備

子どもたち  
の健やかな  
成長を促す  
広場  
(育み広場)

[意見の多かった項目等]

- 災害時に、救出救助の場として利用可能な整備
- 災害時の高台避難所として利用可能な整備
- 災害備蓄倉庫のスペースの確保
- 災害時における、園路照明の確保
- 防災トイレとして活用可能な施設の増設

[意見の多かった項目等]

- テニス
- サッカー
- 野球やグランドゴルフ
- ジョギングやウォーキングが可能な健康広場等

[意見の多かった項目等]

- 緑と花の豊かな公園
- 地域コミュニティ広場
- カフェ、レストランや茶屋
- キャンプ場(バーベキュー広場)
- ドッグラン

[意見の多かった項目等]

- 大型アスレチック
- 高低差を活かした遊具や遊び場(ボルダリング・滑り台)
- 幼児用遊具
- 水遊び場